

# 第33号

# 向陽中学校 学校運営協議会 だより

## EDUCATION ≠ 教育



学校運営協議会会長  
鈴木 祐二

「教育」と云う言葉は明治時代の(承知の上の)誤訳とも言われています。

Education(←Educe)には上から教え込むと云うような要素は無く、(能力などを)引出すと云う意味ですから。

当時も議論が有り福沢諭吉は激しく批判しています。「学校は人に物を教うる所にあらず、ただその天質の発達を妨げずしてよくこれを発育するための具なり。教育の文字はなほだ穏当ならず。」(1889年・文明教育論)

当時アジアの国々は欧米列強の植民地攻勢に晒され、日本は富国強兵・殖産興業を掲げている時代でした。発展途上国型の「知識・画一・管理」の教育を進めたのもその背景が有ったことでしょう。この流れは現在まで続いて来てしまいました。

しかし今、時代に求められているのは生徒が「自ら学ぶ」ことであり、学校が目指しているのは「主体的・対話的で深い学び」です。

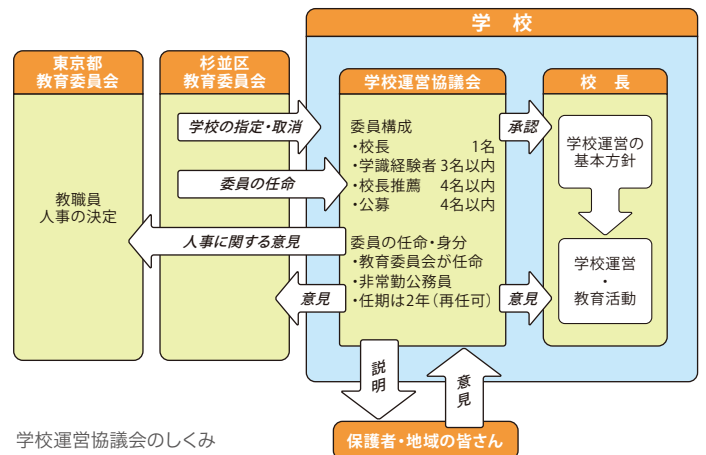
教育⇒学習 教科⇒学科 教室⇒学習室と用語も変わらねばなりませんね。

教員の役割もTeaching⇒Coachingに変わらなければならないでしょう。

それは行く手を示すガイドであり、伴走するアドバイザーであり、後ろから見守るサポーターです。

しかしこの変革は決して簡単なことでは有りません。

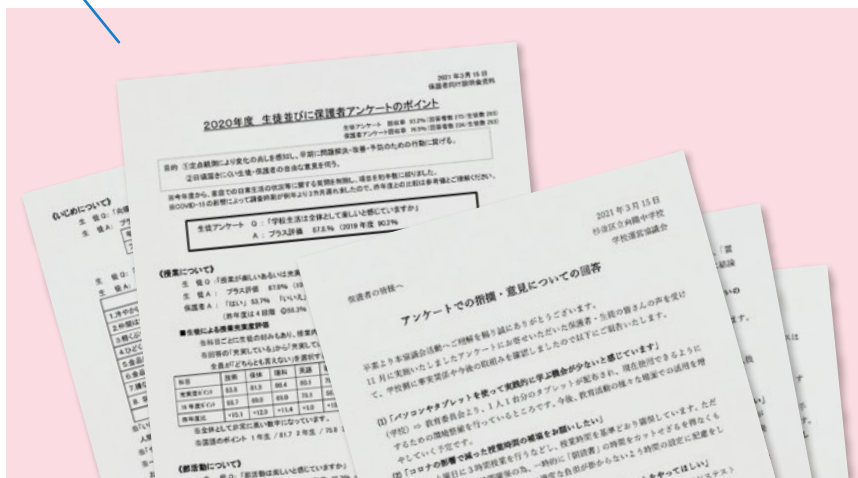
すべて学校にお任せではなく、地域の持つ豊かな人的資源等を活かして皆で新しい学びの場創りに取り組むことも必要です。この地域には、明治初期に永福寺村など皆がお金を出し合って学校を作った歴史も有るのであります。



学校運営協議会のしくみ

保護者・地域の皆さん

# 学校運営協議会 令和2年度 アンケート調査結果



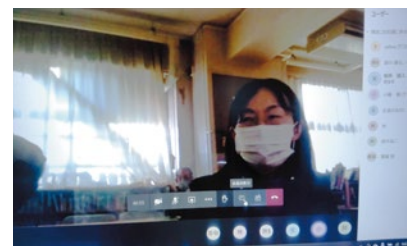
アンケート用紙

「相手の立場に立ってものを見て・感じて・考える」のは学ぶべき最も大事なことです。家庭での注意も重要と感じました。

②保護者アンケートでは具体的な要望を多く頂きました。

優先順位を付けて一つ一つ事実確認し、学校と協議をして来ました。

プール更衣室の排水及び換気設備改修・屋外放送設備改修・ダンス部の体育館使用・学校での2～3年生向け体操服等注文・来年度以降の式典での入場や座席の男女別廃止など、校長先生には素早い対応をして頂きました。



リモート会議(画面)

学校運営協議会は、学校に対し第三者の眼・立場からの問い掛けや提言をすることに意義が有ります。その為には生徒の皆さんの状況や保護者の声を直接把握することも大切です。

協議会は16年間この向陽中学校独自の調査を続け、毎月の会議等を通じて生徒の皆さんの学習環境の改善に活かして来ました。

去る2月24日には保護者向けの説明

会も行いました。

①生徒アンケートの主要な点「授業について」「部活動について」は従来同様に肯定的な評価が続いています。

「いじめについて」では(ごく軽いものも含めた)いじめ件数は全体として減っていますが、1年生がその半分近くを占め、且つ複数で一人をいじめると言う誠に残念な事案が有りました。

## 教育委員会への要望書提出はつぎのとおりです

1	美術室へのエアコン設置要望(平成30年3月)	→	令和元年8月24日設置
2	体育館へのエアコン設置要望(平成30年9月)	→	令和2年7月13日設置
3	プール更衣室改修要望(令和元年10月)	→	改修時期は、令和2年9月～10月(10月25日施工完了)
4	学校の防犯体制強化要望(令和元年10月)	→	実現していません



美術室に設置されたエアコン



体育館に設置されたエアコン

# 令和2年度 活動報告

## COVID-19対策で 3か月間臨時休校

### 第1回(6/29)

・**会長から**：「①地元の顔見知りが集まって委員を長く勤めれば「閉ざされた学校」になってしまいます。職業も経歴も多様なメンバーで構成されるよう今後も努力が必要です。②私たちは会議で意見を述べ、計画がどう実行されたかのチェックも行いますが、学校運営自体は校長先生が責任を持っており、その判断は常に尊重されます。」

・**学校の近況報告**(6月から学校再開)

・**学校経営計画の承認**(法令に基づく)

・**委員の意見**(学校運営協議会だより前32号掲載分を除く)

「熱中症対策のものさしをWBGTで昨夏お願いしたが⇒学校は7月に計測機器3台を設置し暑さ指数31.0超は原則運動禁止とした。

「髪の色や身だしなみは学校が指導することではなく、家庭の問題とはっきりさせては」

「携帯電話・スマホをすべて禁止するのは行き過ぎでは。使い方の指針さえあれば有効な道具。」

### 第2回(7/22)

「置き勉」「SNSリテラシー教育」「式典の男女別入場・着席」について委員より問題提起。⇒保護者アンケートの声も

有り学校として前向き対応に。

「生徒を大人として扱う観点から、男女共に「さん付け」で呼ぶことが大事ではないか」との指摘も出た。

ICT環境整備についての質問が有り、学校からは「ルーター貸出」「タブレット配布計画」の説明があった。

### 第3回(8/21)

前半の授業時間不足を補うスケジュール等について説明があった。

### 第4回(9/25)

学校から「修学旅行」「部活動の入部状況」について説明があった。

委員から、いじめ防止対策委員会の開催状況の質問と「いじめと迄認識していなくても、当たり前でない事柄は協議会への報告事項である」旨の確認があった。

### 第5回(10/23)

委員から「テストは理解度チェックの手段であり、大事なその後のフォローアップは具体的にどう行われているか」との問い掛けがあった。

学びの学校を含めサポートの状況について委員と教員との合同研修会などで検討することとした。

運動会の実施についての説明があった。

### 第6回(11/18)

委員からもっと自主性を尊重してはとの議論があった。例えば「教室での防寒着規制など無用では」との話が有り、学校も自主判断の方向とのことであった。

不登校生徒へのオンラインでの授業参加のシステム作りをとの提案も有った。

### 第7回(12/22)

学校から「中学対抗駅伝での活躍」「心のつながりプロジェクト(ウズベキスタンラグビチーム応援)」等の報告があった。

「生徒並びに保護者アンケート」結果について協議した。

授業中の生徒の事故について、第3回での報告以降の続報が有り、協議会から学校に「初期対応についての時系列で詳細な事実の教育委員会への書面による追加報告」を要請した。

### 第8回(1/19)一部リモート会議

緊急事態宣言による「2年生移動教室中止・1年生校外学習延期・部活動一部休止」等について説明があった。

当校の部活動数は区内で最も多いとのことであった。

### 第9回(2/16)

いじめの個別案件の詳細な報告が有り、事実確認をし、対応について説明があった。



会議風景



ダンス部パフォーマンス

## ◎ 地域によるサポートのお知らせ ◎

### Café勉

NPO法人すぎなみ子どもサポートが開催するゆうゆう永福館での放課後の学習機会です。元高校教員などがアドバイスします。開催予定日(4月にチラシを配布します)

#### 「木曜Café勉」

5/6、13、20、27・6/3、24・7/1、8

#### 「Café勉(試験前)」

6/10、11、14



木曜Café勉



Café勉



KOYOスタディ

### KOYOスタディ

土曜日学校として始まったKOYOスタディは、自主学習スタイルで学びのサポートを行っています。主に定期考査前の土日に、向陽中図書室・美術室で開催され、ボランティアの講師の先生や大学生に質問することもできます。

#### 「KOYOスタディ」

定期考査前の土日と夏休み終了前土日

9:15~11:50 年10回程度開催

### プロによる合唱指導

恒例の地域在住の声楽家による向陽祭コーラス指導。今年は全学年全クラスに1人ずつ張り付いて行う準備が出来ていましたが、残念ながら緊急事態宣言再延長の為中止となりました。

### 2年間の振り返りとこれから

学校運営協議会  
原田 崇史



ご縁があり、平成31年4月に本校の学校運営協議会委員に任命され、この4月に3年目を迎えます。

「地域とともにある学校」づくりのための仕組みである学校運営協議会の主な役割として、①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する、②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる事ができる、③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる事ができる、の3つがあるとされています。

学校運営協議会という制度があることすら知らなかった私は、学校という空間が、生徒と教員の「閉ざされた空間」であってはならないものの、果たして教育の素人に、そのような「大それた」ことができるのか、かえって教育現場を混乱させるのではないかと躊躇したことを憶えています。

1年目を終え、「これから」という2年目の昨年は、コロナ禍の影響により、6月の終わりに漸く第1回の協議会が開催され、10月以降は、ウェブ会議システムを併用しての開催となっています。

この間、協議会では、多様なメンバーのもと、授業・学習環境、人間関係、学校設備などに関して広く様々な意見が交わされ、その際には、生徒や保護者の方からのアンケート結果にも十分な配慮がなされています。プールの更衣室の改修はその成果一つといえるでしょう。

今後も謙抑的かつ偏らない姿勢を忘れずに、微力ながら、「地域とともにある学校」づくりのお手伝いできればと考えています。